

アジア地域のコレラ、下痢症の流行状況(更新 1)

2010年7月6日 ProMED 情報

(1) パプアニューギニア [Papua New Guinea Post-Courier]

コレラで死亡した縁者の葬儀で死者と直接接触したことが原因で、参列者より15名の死者が発生したことから、住民に葬儀は見合わせるよう勧告が出されました。死亡患者は全員マナム Manam 島の Dugulava 村の出身で2名の子供が含まれています。報告によれば死亡患者の一部は、急性の激しい水様便などのコレラの一般臨床症状を示しておらず、死亡はコレラとは無関係だということです。

[ProMED 調整者]

重症コレラでは比較的稀ですが、下痢発症の前に水分が腸に急速に分泌され循環血流量が減少し、病状が急速に悪化し死亡することがあります。この過程は、cholera sicca または dry cholera と呼ばれています。

(2) パプアニューギニア(中央州) [Papua New Guinea Post-Courier]

6月20日、中央州はコレラ患者991名を報告しました。患者の最も多いのは、Waiori 村でコレラ患者527名が報告されました。その他 Wanigela 村329名、Gavuone 村29名、Kupiano 村3名、Kalapi 村2名、Maopa 村1名でした。

(3) ベトナム(メコン・デルタ地方) [Thanh Nien News]

7月2日、カマウ Ca Mau 省予防医学センターは、バックリュウ Bac Lieu 省 Dong Hai 地区 Dinh Thanh 区で4歳と2歳の兄弟がコレラに感染したと報告しました。この2名は同省で最初の発生例です。同日、アンザン An Giang 省 予防医学センターは、Chau Thanh 地区 Vinh Thanh 区とロンスエン Long Xuyen 市 My Thoi 区のコレラ患者2名を報告しました。同省では、6月にコレラ患者10名とコレラ疑い患者1名を報告しました。

(4) ベトナム(北部) [VietNamNet Bridge]

7月3日、保健省予防医学部局によると、国立熱帯病病院では急性下痢症36名が治療されており、そのうちコレラ患者18名が確定診断されたとのことです。ほとんどの患者がハノイ市内出身で、非衛生的な食事をしました。

同国での2007年以降のコレラ菌は、より強毒で危険になっています。長い寿命を持つ新しい型で、ラオス、カンボジア、タイで流行を引き起こしたものと類似しています。

(5) カンボジア(ラタナキリ州 Ratanakkiri) [Rhnom Penh Post]

7月4日、保健当局はラタナキリ Ratanakkiri 州の Ta Veng 地区と O'Chum 地区で、急性下痢症により少なくとも3名が死亡したと報告しました。4月以来、同州では32名が死亡しています。

同州の4月以来の急性下痢症患者は1,300名です。

(6) タイ [Thai Visa Forum, The Nation report]

タイ保健省は、コレラ死亡患者5名の発生後、コレラ拡大状況の監視を開始しました。死亡患者5名中3名はパタニ Pattani で他の2名はソククラ Songkhla とターク Tak の住民でした。同省によれば、1~6月までに、食物由来感染症患者982名が発生したとのことです。感染者のうち708名がタイ人で、274名が他の国からの季節労働者でした。

コレラ患者は、南部505名、北部279名、北東部166名、中部32名が報告されています。

(7) タイ-ミャンマー国境(難民) [The Irrawaddy]

6月11日、Mae La 難民キャンプの情報によると、2週間で89名の難民がコレラに感染しましたが、さらに患者数が増加しているということです。死亡患者の報告はありません。6月10日現在、72名が退院しました。15名の患者はコレラ治療センター(CTC)に入院中です。患者の大部分は地元の井戸水と小川の水を飲んで感染しました。

(8) インド(チャッティスガル州) [Thaindian News, Indo Asian News Service(IANS)report]

6月14日、保健当局によると、下痢性疾患患者がアンドラ・プラデーシュ Andhra Pradesh 州との境界付近のビージャプル Bijapur 地区の Dharpur 村に発生して、少なくとも死亡患者12名と患者150名以上が発生しました。